

“鮮度一番！”

No.170

～女性と男性が支え合う社会をつくる～

CONTENTS

1～2 / 明日への一歩 ～宮城からの復興だより～第11回

2 / ひとことコラム

2～4 / 運営委員会で話されたこと

4～5 / 「ちょこっと能楽話」第4回

5～6 / 公開講座のお知らせ

6 / さんじょう白熱教室 編集後記

明日への一歩

～宮城からの復興だより～

第11回

「これまで、そしてこれから」

この会報に原稿を寄せ始めてから、一年が経ちます。

この一年という期間は、私が地元である宮城に戻ってきてからの期間ということでもあります。あっという間だったような、長かったような一年でした。被災した方々の生活の場は、応急仮設住宅から徐々に復興公営住宅へと移行しつつあります。被災したまちの風景は一年前と変わったところもあれば、変わらないところもあります。復興に向けて新しく生まれた取り組みもたくさんありますが、何かのきっかけで大きく変わったことというのはそれほど思い当たらず、毎日コツコツ積み重ねてきた取り組みが、結果として変化を生んだりしていることの方が多いように感じています。

宮城にいと、毎日のように見たり聞いたりする言葉があります。「復興に向けてがんばろう！」という言葉です。テレビ、ラジオ、新聞、企業広告などなど・・・あらゆる場面に使われているので、このメッセージに触れない日はありません。

たまに三条に帰ったり出張に出たりして、東北を離れることもあるのですが、肩の力が抜けたように感じるのは、このメッセージが見当たらない・耳に入らないということも関係しているのかもしれませんが。ときには「よし、がんばろう」と自分に声をかけるときもありますし、仕事に追われるときもあります。それでも、災害からの復興というのは短距離走のように一気に突き進むことのできるものではなく、マラソンのように、ときにはウォーキングのように、焦ることなく自分たちのペースでコツコツと、着実に進んでいくことが大切なのだ、そう自分に声をかけながら、周りの方々と声をかけあいながらの一年でした。

特に宮城は、この三十数年の間に4回もの大きな地震に見舞われてきました。また、大きな被害は起きなくとも、梅雨の時期、毎年のように水の被害に悩まされている地域もあります。自然とともに、自

然のなかで生きるということ、今改めて考える必要があるのだと実感しています。そして、人としてどのように生きるのか…自らの利益ばかりを追求するのではなく、支え支えられの関係性の中で生きるということが人として日々の暮らしを送る上での基本であり、そのような関係性の中で良い循環が生まれれば社会全体がより良く生きるということ、宮城の復興を支える日々の中で感じている最近です。

とりとめのない最後になってしまいましたが、この一年間、こうして言葉を連ねることで自分自身の取り組みを客観的にみることもでき、励みにもなりました。今回で私からのお便りは最後となります。一年間本当にありがとうございました。宮城の復興に向けた歩みを、これからも見守っていただけたらうれしいです。

支援者のための支援センターTOMONY 事務局
一般社団法人コミュニティー・4・チルドレン防災・福祉学習コーディネーター
菅原 清香

・・・ひとことコラム・・・

K・N

昨年の秋から facebook を始めました。

昔の友人、身近な友人、友人の友人、そこそこに楽しんでいます。

で、インターネット上の交流とは云え、その人その人の性格と言うか、本性と言うか、にじみでくるもんだなあ・・・と感じています。何事も自分中心の人もいれば、適当に付き合いの良い人もいれば、真面目で誠実な人もいるし、マイペースな人もいる。意外に愉快的な人なんだ！なんて発見もあったり。たくさんの人との交流が上手で感心する人もいます。ちょっとずつ本音を隠しているようで、実は見えちゃったりしているもんだなあ。はたして自分は人からどんな風に見えるのか心配ですが・・・。で、もうひとつ気付いたことがあって、自分の近況報告やら、人との交流やらを何回か綴ったりしているうちに「あれ？」と思ったんです。私、なんだか自分で気がつかなかったけど新潟がすき？地元をたのしんでいるな！って。新潟に住むようになってはや20年、雪はめんどくさいし、夏はジメジメしているし、観たい映画は来ないし・・・なんて思い続けていますが・・・。嫌いな雪も、書きゃええなんか困難乗り越えている感じになるし、映画も充分観に行ってるじゃん、自分！山菜に山の風景に海、ホテルに花火、そして、日本酒、枝豆にナス・・・みたいな。

そして最後に、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）も楽しいし、情報もいっぱいだけど、表情や声のわかる生身のお付き合いのかけがえのなさにもあらためて気が付いています。

運営委員会で話し合われたこと

日 時 平成25年5月1日（水）（AM9：30～12：00）

場 所 田辺とも子さん宅

男女共同参画センター休館のため急遽、場所を田辺さん宅に変更して開きまし

た。いつもと違う美味しいコーヒーとハーブティー、手作りチーズケーキとかつぼ屋（一ノ木戸）のいちご大福をいただきつつ、たまにはこんな運営委員会もいいな～(^)

次回の運営委員会は、6月5日（水）9:30～男女共同参画センターです。どなたでもおいで下さい。

1. 新潟県女性財団法人名変更のお知らせ

女性財団が、20年の活動の歴史と想いを受け継ぎ、平成25年4月1日より公益法人として新たなスタートをきりました。

- ・新法人名 公益財団法人 新潟県女性財団
- ・旧法人名 財団法人 新潟県女性財団

ちょっと分かりづらいのですが、国の進める公益法人制度改革に対応して、新潟県知事より公益財団法人の認定を受けたものです。これにより、公益性があるというお墨付きを得られ、社会的にとっても高い信頼度を得ることができます。また、税制面でも優遇が受けられるのだそうです。

2. 第18回総会について

今月26日（日）に開催する総会の出席状況等について、話しました。

多種多様な活動をされている会員の皆様、とっても本当にももの凄～くお忙しいでしょうが、出られる時間帯だけでものご出席をお願い致します～！！

3. 燕三条エフエム放送(ラジオは～と 76.8MHz)“ワイワイ女性ひろば”

- 本放送 毎週木曜日 11:30～12:00
- 再放送 毎週水曜日 19:30～20:00

今年度5月放送分を収録しました。

5月のテーマ 「男もつらいよ」

- ①介護と仕事両立
- ②介護退職ゼロ作戦
- ③健康ブーム
- ④三条版健幸戦略
- ⑤最高の社会奉仕

1、2週目のメンバー：早川もとよし、安室久恵、野崎ミチコ、田辺とも子

3、4、5週目のメンバー：近藤晴美（三条市スマートウエルネス推進室長）

市島清貴（新潟経営大学教授）、野崎ミチコ、田辺とも子

4月に次いで、昨今の「男」を取り巻く問題がテーマです。今や社会全体、国民総参加で取り組まねばならない介護問題ですが、最近、男性が主体となり、親やパートナー

の介護にあたっている事例を多く目にする事から、その現状と課題について1、2週目でしゃべります。3、4、5週目は、数十年前までは考えられなかったレベルの「見た目の重要度」特に男性に対して厳しい時代なのでは？ということで、三条市スマートウエルネス推進室長をお迎えし、ダイエット自慢を交えながら、健康について真面目に語りました。どうぞお聴きください。(田辺)

4. 映画「じんじん」実行委員会のための準備会について

上記の準備会が、5月17日(金)三条東公民館で開かれます。今のところ参加する団体は、6団体

- ①三条おやこ劇場 ②三条女性会議 ③三条市私立保育園連盟連絡協議会
- ④生涯学習インストラクターの会 ⑤おはなしバスケット
- ⑥三条市PTA 連合会 です。

各団体3人程度の出席を請われましたので、西方、米田、野崎が出席します。

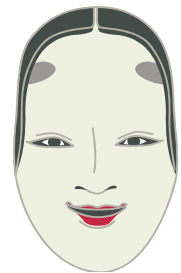
5. その他

さんじょう白熱教室が、いよいよ白熱を帯びてきました。6ページに米田さんからの報告を載せましたのでお読み下さい。

ちよこつと能楽話 第4回

櫻 川

川瀬弓子



ゴールデンウィークは旧暦だと3月20日過ぎにあたります。まさにこれから花の季節に入って行くわけですがこの時季にぜひご紹介したい物語があります。

「櫻川」です。隅田川に引き続き母子もの狂いの形をとります。

櫻子という子(子方；解説書には女の子とありますが舞台の衣装を見ると男の子みたいです)が家の窮状を見かねて自ら身を売ってその代金と手紙を人商人(ヒトアキンド)を通じ母親(前シテ)に届けるところから話は始まります。

通常能は中入(ナカイリ)をはさみ前半と後半に分かれます。「櫻川」の前半は、謡本全体34ページのうちの6ページしかありません。しかも前シテは橋がかりにいて

舞台まで登場しません。ほんのちょこっとしか出ませんが衝撃的な場面が展開されます。

代金（代物ダイモツ）を受け取り手紙（文フミ）を読んだ母は「あら思いよらずや〜略〜のう（呼びかけ）その子は売るまじき子にてそうろうものを〜」と嘆き我が子の行方を尋ね泣く泣く迷い出でていきます。子の心親知らず、ということでしょうか？

後半はひたすら、母親が櫻子を探し歩く様（私はこの形を狂と感じています）を表現しています。

母親（後シテ）は水衣（ミズゴロモ白い衣装）を着て網を持って登場します。狂ものは笹の枝を持つことが多いのですが櫻にちなみ大体60センチ四方のすくい網を持っています。ゆらゆら揺れるすくい網は、はかなく母親の気持ちを象徴しているようです。

能は、歌（謡）、台詞、舞、音楽（四囃子、笛、小鼓、大鼓、太鼓）の総合芸術です。

謡の所は詞章と言われ美しい文が続きます。「櫻川」でも「網の段」と言われる部分は、後シテと地謡の掛け合いが絶妙で櫻づくしの見所聞き所となります。

後シテの「あたら櫻の」を受けて地謡は「あたら櫻の〜略〜散ればぞ誘う」後シテ「誘えばぞ散る花かづら」地謡「かけてのみ眺めしは」後シテ「なお青柳の糸櫻」地謡「雲の間には」後シテ「樺櫻」と謡い続けます。

その後地謡が「花も櫻も。雲も波もみながらに。すくい集め持ちたれども。これは木々の花真は。我が尋ぬる。櫻子ぞ恋しき我が櫻子ぞ恋しき」とおさめます。

この「網の段」は仕舞でもよく舞台に出ますが舞う側としては、舞の形（カタ）をしながら、地謡と掛け合いながら謡い、拍子を踏む、全てを同時進行でやらねばならず、間をとりながら見栄えよく仕上げるのは至難の業です。

母親の思いがけない最後はハッピーエンドで終わりますのでご心配なく。

母子ものが続きましたので次回は父子ものをご紹介します。今回はここまでとさせていただきます。

【2つの公開講座のお知らせ】

どちらも申込み不要！！参加費無料！！ですよ〜(^-^)/

◆三条地名研究会&三条市生涯学習インストラクターの会より

- ・日 時 7月20日（土）13:30~15:30
- ・会 場 三条市立図書館 視聴覚室（2階）
- ・演 題 「城下町長岡の食文化〜越後の食い倒れをめぐって〜」
- ・講 師 田中洋史 氏（長岡市立中央図書館文書資料室主任）
- ・内 容 江戸時代の料理本『料理活用』、明治時代の雑誌『越後風俗誌』を読み解きながら私たちの「食」のルーツを探ります。
- ・問い合わせ先 三条市立図書館（三条市元町1-6 TEL0256-32-0657）

◆第3回日本認知症予防学会学術集会より

- ・日時 9月29日(日) 13:30~16:00
- ・会場 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 2階 メインホール
(新潟市中央区万代島6番1号 TEL025-246-8400)
- ・内容 「認知症予防のできるまちづくりをめざして」
- ・講師 北村 伸 日本医科大学武蔵小杉病院内科 教授
演題・・・「認知症の正しい理解」
浦上克哉 鳥取大学医学部保健学科生体制御学講座 教授
演題・・・「認知症予防への取り組み」
- ・問い合わせ先 (医)川瀬神経内科クリニック 総務課 (TEL0256-33-9070)

「さんじょう白熱教室」って ナニモノ？

ー互いに言葉にするって気持ちいいー

米田 美智子

「沈黙は金」「出る杭は打たれる」「和をもって尊しとする」

若い人は聞いたことがないかもしれませんが、私たち世代の体にはしっかり沁み付いている、日本的風土が生み出した言葉です。特に女性には。世間話で盛り上がるのは許されても、議論するなんて常識はずれもいいところです。今までは……。ところが、時代は変わった。後期高齢者の、女性の私が、ひよんなことから議論の場「さんじょう白熱教室」を始めてしまいました。毎月20日(ハツカ)に、東公民館に7時に来ただけの関係で、いきなり議論を始めているのです。5月のテーマは「ユーモア」。先回のメンバーが適当に決めました。「イジメ」「体罰」「高齢化社会」など、重いテーマが続いたということで、自然の流れで決まりました。議論というより、テーマに沿ってのフリートークです。テーマさえ共有すれば、フリートークでも話の展開はどんどん深まり、広がるものと、毎回実感しています。

講師も司会者もいません。参加者は、その日、たまたま出会った者どうし、対等の関係で言いたい放題です。十代の若者から会社帰りのスーツの男性、高齢者カップルなど。その日によってまちまちで、さて、次回はどんな人が現れるかと楽しみです。

今のところ、三条だけですが、こんな場、機会があちこちに、日々の暮らしの中にあつたらと思います。そうすれば、今まではイジメを見ても、なんとなく見て見ぬふりしていたけれど、これからは、みんなで言葉にして向き合えるのではないのでしょうか。

編集後記：

我が家の外孫がやっと幼稚園に通い始め、もろ手を挙げてバンザイをしています。その孫が幼稚園のお友達にそれもとてかわいい女の子にギュッと抱き着いて泣かせてしまったそうで・・・！翌日ママに言い聞かせられた通りちゃんと「ゴメンね」と誤って仲直りができたとか。なんとも微笑ましい話しです。人との関わり方勉強していくんだねー。

今号も盛りだくさんの内容です。どうぞ隅から隅までお読みください。(原)

編集発行：三条女性会議・代表 野崎ミチコ

連絡先：三条市田島2丁目12-12 TEL 32-3667 FAX 32-3679

ホームページアドレス：<http://www.joseikaigi.net>